

施策番号 5-1-1	施策名 徹底した情報共有と町民参加の促進	基本目標	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり		
		政策名	多くの町民が関わり参加する自治のまちづくり		
	主管課	政策推進課	課長名	石田 哲	内線 225
	施策関係課	総務課			

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果	
住民と行政が情報共有し、主体的なまちづくりへの参加を促進します。		町民	・町民と行政との情報共有を行い、まちづくりに自発的に参加してもらう					町民のまちづくりへの参加意識を高め、町民が主役となったまちづくりを進める	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	
①	行政情報の公開や説明責任が果たされていると思う割合	%	90.6	71.8	71.6	76.1	77.8	90.0%以上	
②	町ホームページのサイトへの訪問者の数(セッション数)	回	406	512	873.5	1,246	1,428	500回以上	
③									
④									
成果指標設定の考え方	<p>①策定時の90.6%は従来手法(「どちらでもない」を含む5択から、「どちらでもない」の回答を引いて再計算したもの)での調査結果であり、新手法(「どちらでもない」の選択肢を含まない4択)においても、同水準を目指すもの。</p> <p>②策定時の数値から、2割以上の増を目指すもの。</p>								

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算
施策事業費(千円)	23,915	29,209	23,689	21,164	22,520
人工数(業務量)	2,0273	1,5751	1,6082	1,4842	1,4718

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2022年度の成果評価(前年度との比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①については、町の公式LINEにより、町情報の発信を増やしたことが要因と思われる。
②第5期総合計画前期実施計画の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	①は未達で、②は達成。後期計画からの指標ではあるが、「行政からの情報発信方法が充実していると思う割合」は、89.9%と高く、概ね達成できたと考えられる。
(2) 施策の成果評価に対する第5期総合計画前期実施計画の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	広報事業 広聴事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、団体別のめむろ未来ミーティングの実施回数は増えなかった。 オンライン形式のめむろ未来ミーティングについては、テーマを絞り実施した。 農村部の光ファイバー整備が終了し、順次供用を開始した。 令和3年5月から開始したLINE公式アカウントは、登録者数が順調に増加した。 		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)

担当課 評価	行政情報の発信については、策定時より大きく前進したと考えるが、主体的なまちづくりへの参加については、大きく前進したとまでは言えず、トータルとしては、「前進した」と判断する。					
		A	B	C	D	E
		進捗結果			○	

A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
 D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》 デジタル技術を活用した情報共有・町民参加が求められている一方で、対面型のニーズもあり、当面は、両手法を併用する必要がある。 《今後の予測》 自分の好きな時に、手軽な方法で情報を入手する手段を拡大していくことが成果の向上につながるものとする。</p>
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信については、アナログ的な手法を残してほしいとの意見がある。 ・LINEを活用した情報発信については、評価を受けることが多い。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙では、詳細かつタイムリーな情報を伝えきれないため、ホームページとの連動が必要である。 ・SNSの積極的な活用とともに、アナログ的な手法も併用し、多くの町民に情報を届けられるように進めていく。 ・LINEについては、町民との情報共有に有効な手段であり、町民視点での全庁的な活用を進めていく。 ・オンライン形式のめむろ未来ミーティングの定例化など、時代に合わせた手法を実施していく。 ・対面式のめむろ未来ミーティングについては、イベント時など、人が多く集まる場所で実施する方法もある。
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	情報共有について、LINEなどを導入し、カスタマイズして徐々に使いやすくなったことなどから「前進した」と評価する。					
		A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・農林部光ファイバーの活用や新たなSNSなど活用を進めてください。 ・生涯学習課のジモト大学や町内高校生徒の活躍など、関連が想定される事務事業について施策上の繋がりを整理してください。 	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した				

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果指標②の伸び、LINE利用率や、SNSを活用した他分野にわたった取組みなどから「前進した」と評価する。					
		A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・芽室町のホームページを見ても行きたいところに行けなく、見やすさを改善するために、パソコンとスマートフォンの仕様が異なるようにしてほしい。 ・熱中症アラートを発信してほしい ・時代に合わせて、紙、SNSの両方で情報発信を進めてほしい。 ・Facebookは町内外、LINEは町内など、他の町村を参考にして、SNSの種類によってターゲット層を変えた発信をしてほしい。 	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した				